

県民アンケート調査結果等

次期総合計画・総合戦略策定にかかる基礎調査結果

【調査概要】

1. 調査目的	• 結婚、妊娠・出産、子育てや働き方などに対する認識や施策のニーズの把握
2. 調査対象	• 県内に居住の18歳以上49歳以下の男女約20,000名(無作為に各市町1,000名程度抽出)
3. 調査方法	• 調査用紙を郵送 • 調査用紙の返送またはWebにより回答
4. 回収数	• 6,301人(回収率 30.8%) (内訳)男性:2,494人(39.6%) 女性:3,718人(59.0%) 性別未回答:89人(1.4%)
5. 調査実施期間	• 令和7年1月～2月

県民アンケート調査結果等

次期総合計画・総合戦略策定にかかる基礎調査結果

【市町別の回収結果】

市・町名	10代	20代	30代	40代	無回答	計	市・町名	10代	20代	30代	40代	無回答	計
長崎市	30	98	106	113	0	347	雲仙市	12	75	115	109	0	311
佐世保市	16	102	117	139	0	374	南島原市	18	74	109	105	0	306
島原市	12	67	112	121	0	312	長与町	28	94	131	142	0	395
諫早市	18	86	126	119	0	349	時津町	21	68	91	111	0	291
大村市	20	91	127	146	0	384	東彼杵町	17	83	93	101	0	294
平戸市	23	70	91	113	0	297	川棚町	16	68	98	94	0	276
松浦市	14	58	88	104	0	264	波佐見町	14	59	87	108	0	268
対馬市	12	58	80	89	0	239	小値賀町	6	19	48	59	0	132
壱岐市	8	66	94	95	0	263	佐々町	20	72	105	114	0	311
五島市	11	81	97	92	0	281	新上五島町	18	58	106	104	0	286
西海市	21	67	98	129	1	316	無回答		1	1	1	2	5
							合計	355	1,515	2,120	2,308	3	6,301

県民アンケート調査結果等

次期総合計画・総合戦略策定にかかる基礎調査結果

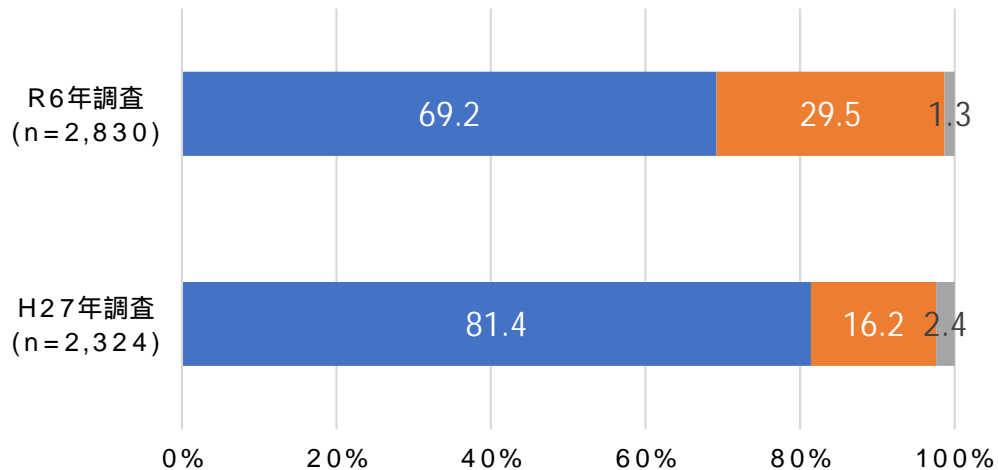
(結婚について)

設問 現在の結婚に関するお考えをお答えください。
(回答は独身者のみ)

- 独身者の7割が結婚の意向を持っているが、前回(H27)調査と比較すると、10ポイント以上減少
- 女性は結婚の意向が男性より9.2ポイント低い
- 年齢が上がるにつれて結婚意向は低下する傾向

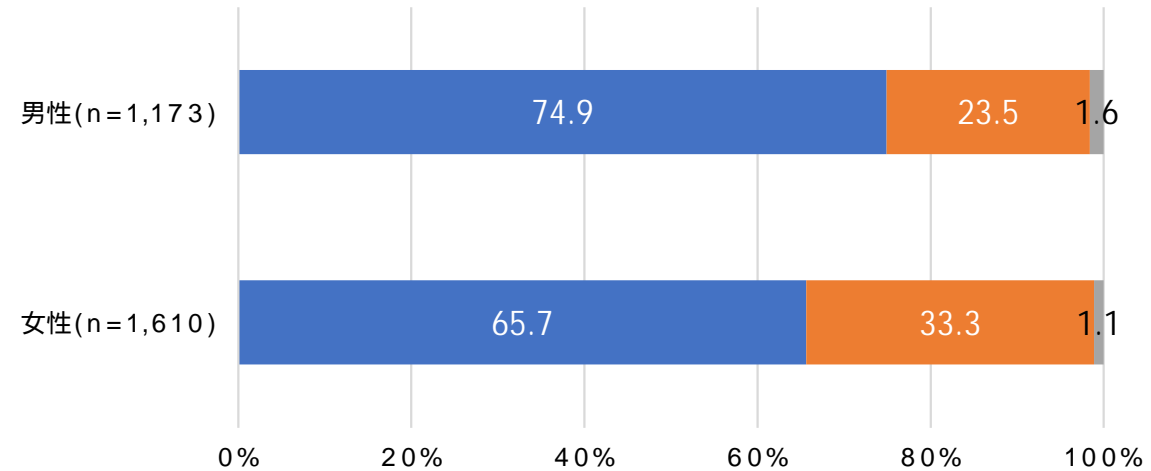
図表1 結婚意向 前回調査との比較

■いずれ結婚するつもり ■一生結婚するつもりはない ■無回答



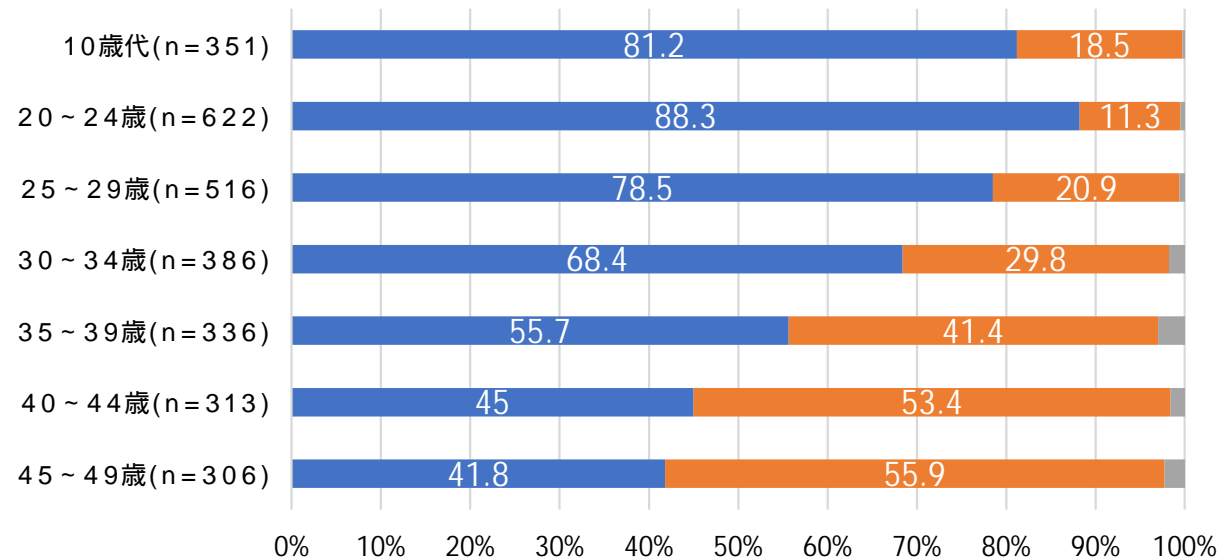
図表2 結婚意向 男女別

■いずれ結婚するつもり ■一生結婚するつもりはない ■無回答



図表3 結婚意向 年齢別

■いずれ結婚するつもり ■一生結婚するつもりはない ■無回答



県民アンケート調査結果等

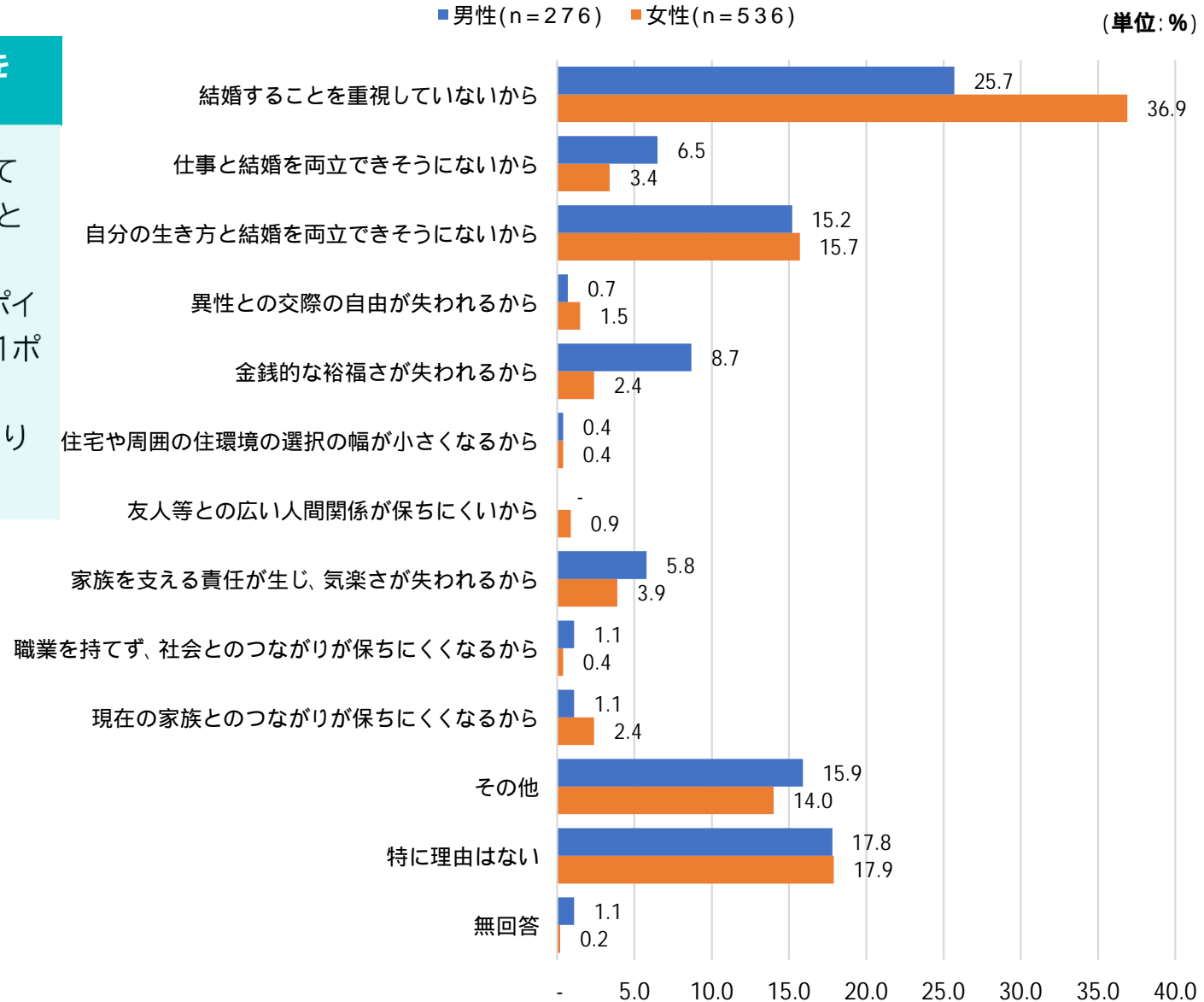
次期総合計画・総合戦略策定にかかる基礎調査結果

(結婚について)

設問 「一生結婚するつもりはない」を選んだ理由をお答えください。

- 男女とも最も高いのは「結婚することを重視していない」で、「特に理由はない」、「自分の生き方と結婚を両立できそうにないが続く
- 男性は、「金銭的な裕福さが失われる」が6.3ポイント、「仕事と結婚を両立できそうにない」が3.1ポイント、それぞれ女性より高い
- 一方女性は、「結婚を重視していない」が男性より10ポイント以上高い

図表4 一生結婚するつもりはない理由



県民アンケート調査結果等

次期総合計画・総合戦略策定にかかる基礎調査結果

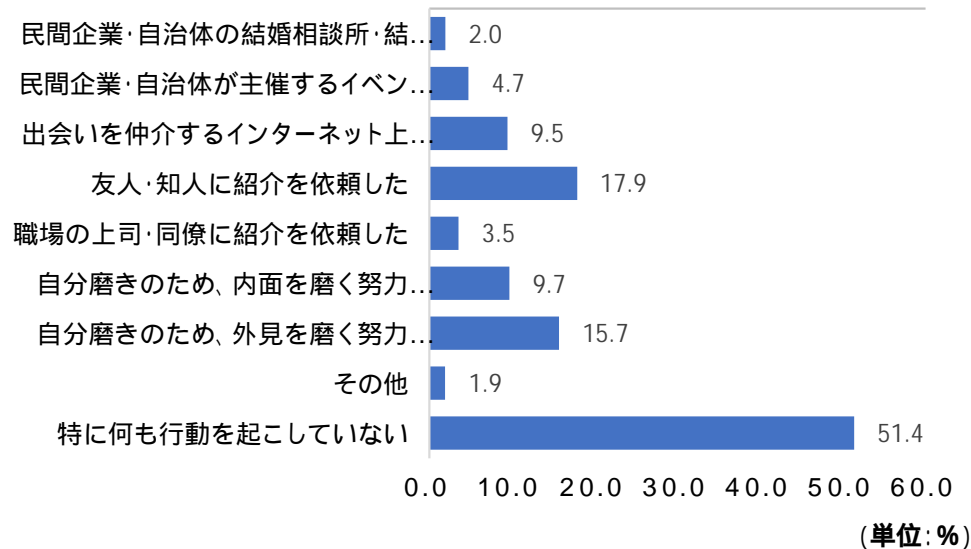
(結婚について)

設問 結婚に向けて、行動を起こしていること(起こしたことをお答えください。(2つまで))

- 結婚に向けて「特に何も行動を起こしていない」が5割で最も多い
- 20代後半から30代前半は、インターネット上のサービス(マッチングアプリ等)の利用率が比較的高い

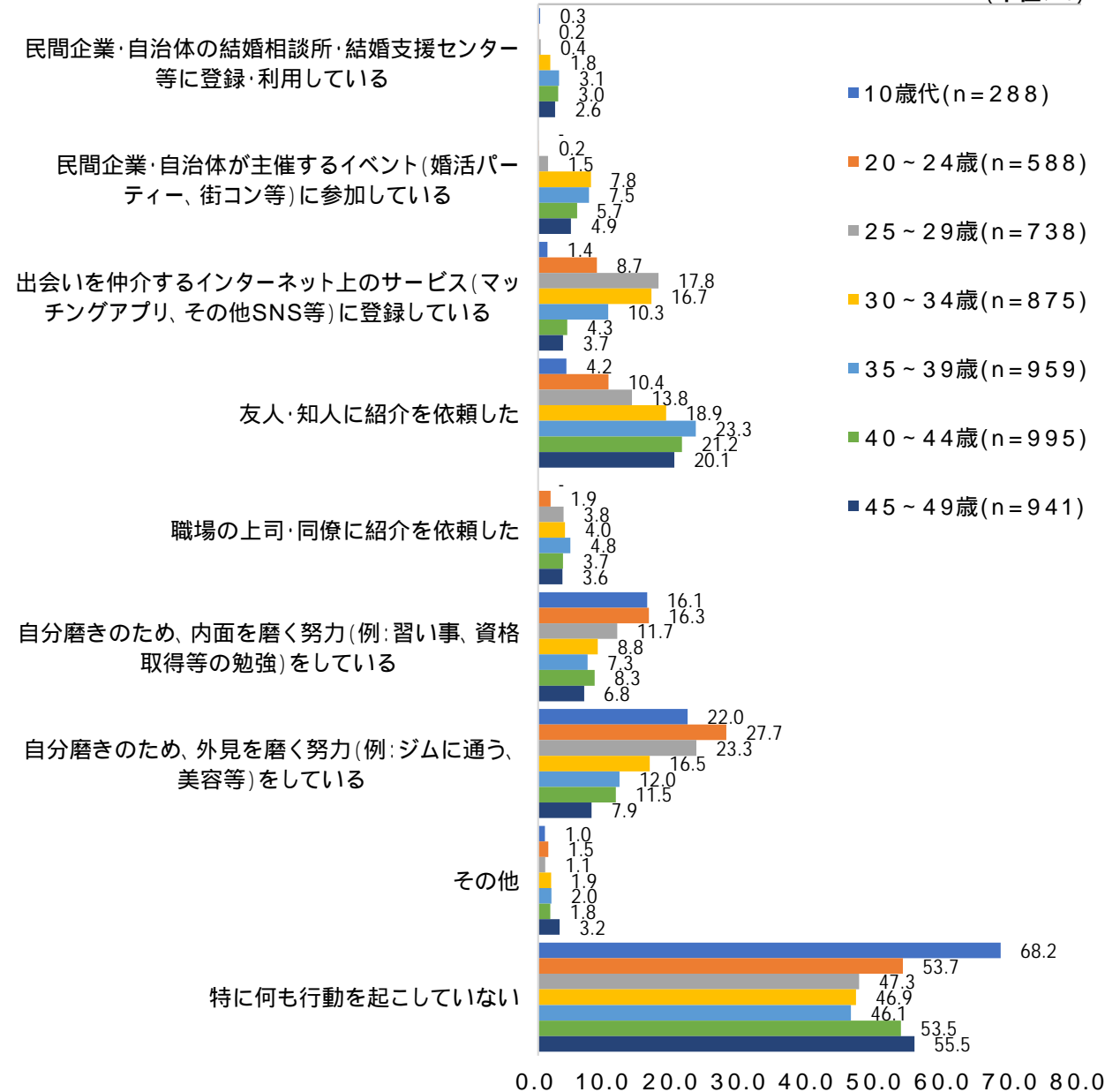
図表5 結婚に向けて行動を起こしたこと(全体)

(n=5,384)



図表6 結婚に向けて行動を起こしたこと 年齢別

(単位: %)



県民アンケート調査結果等

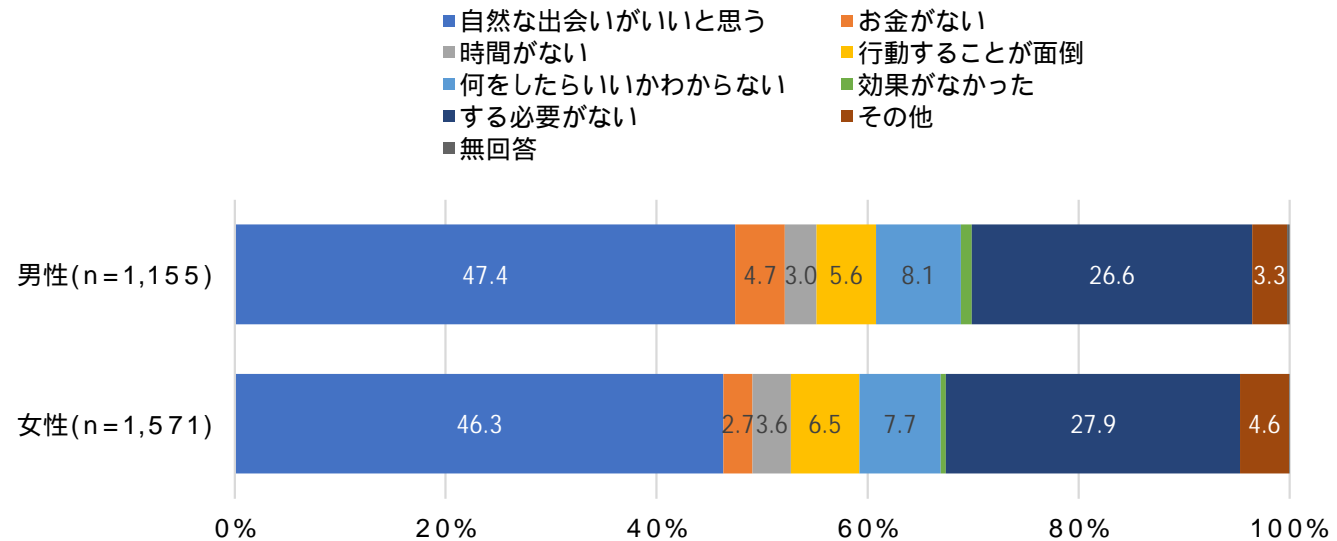
次期総合計画・総合戦略策定にかかる基礎調査結果

(結婚について)

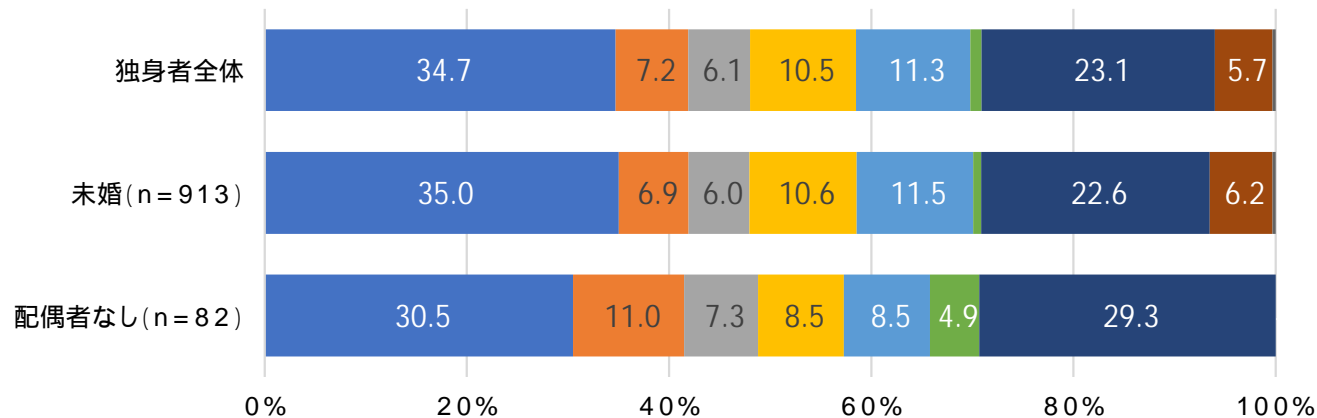
設問 (結婚に向けて)行動を起こしていない(起こさなかった)理由お答えください。

- 「自然な出会いがいいと思う」が男女とも5割近くで最多
- 男女とも「する必要がない」が3割弱と続く一方で、「何をしたらいいかわからない」(8%)、「行動することが面倒」(6%)の回答も見られる
- 独身者は、「何をしたらいいかわからない」(11.3%)、「行動することが面倒」(10.5%)の割合が高い

図表7 結婚に向けて行動を起こしていない(起こさなかった)理由



図表8 結婚に向けて行動を起こしていない(起こさなかった)理由
独身者のみ抽出



県民アンケート調査結果等

次期総合計画・総合戦略策定にかかる基礎調査結果

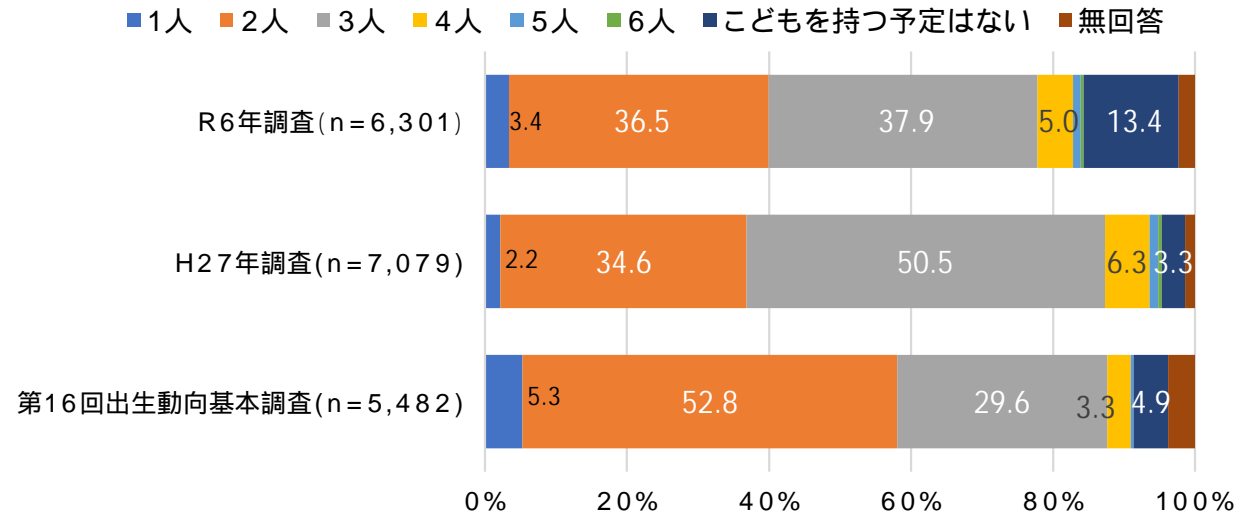
(出産・子育てについて)

設問 理想的なこどもの数は何人ですか。

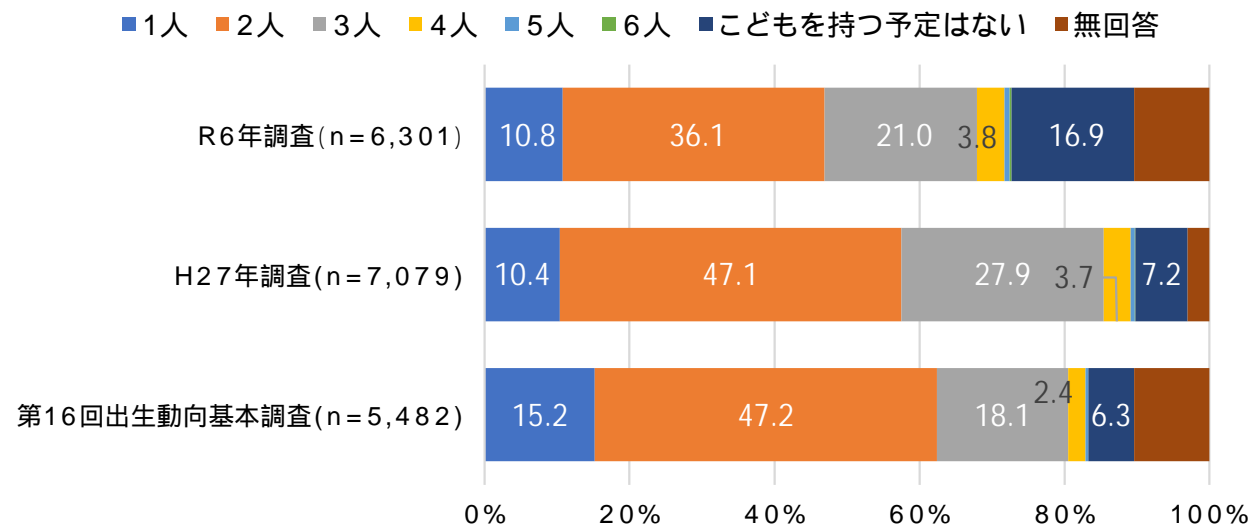
設問 実際に何人のこどもを持つ予定ですか。

- 理想的なこどもの数は「3人」が最も多く、「2人」、「4人」と続く
- 前回(H27)調査と比較すると、理想的なこどもの数を「3人」と回答した割合は10ポイント以上減少したが、「こどもを持つ予定はない」と回答した割合は10.1ポイント増加
- 一方、実際に持つこどもの数は「2人」が最も多く、「3人」、「1人」と続く
- 前回(H27)調査と比較すると、実際に持つこどもの数を「2人」と回答した割合は10ポイント以上減少したが、「こどもを持つ予定はない」と回答した割合は9.7ポイント増加

図表9 理想的なこどもの数 前回調査との比較



図表10 実際に持つこどもの数 前回調査との比較



県民アンケート調査結果等

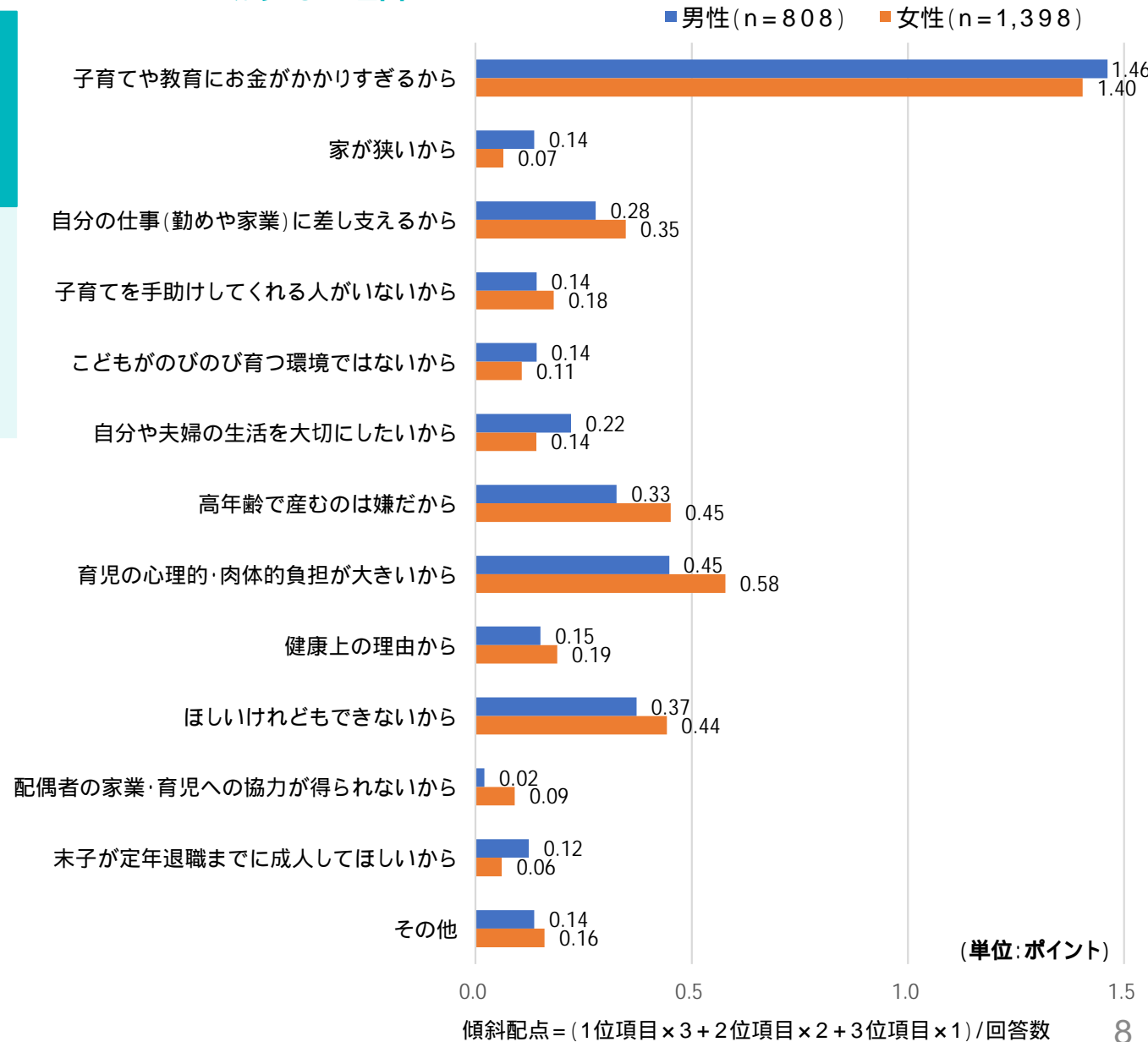
次期総合計画・総合戦略策定にかかる基礎調査結果

(出産・子育てについて)

設問 理想のこどもの数より実際に持つことを考えているこどもの数が少ない理由をお答えください。
(順位の高いものを3つまで)
(実際に持つこどもの数が理想のこどもの数よりも少ない場合のみ回答)

- 男女とも「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が最も高く、次いで「育児の心理的・肉体的負担が大きい」、「ほしいけれどもできない」、「高年齢で産むのは嫌」が続く

図表11 理想のこどもの数より実際に持つことを考えているこどもの数が少ない理由



県民アンケート調査結果等

次期総合計画・総合戦略策定にかかる基礎調査結果

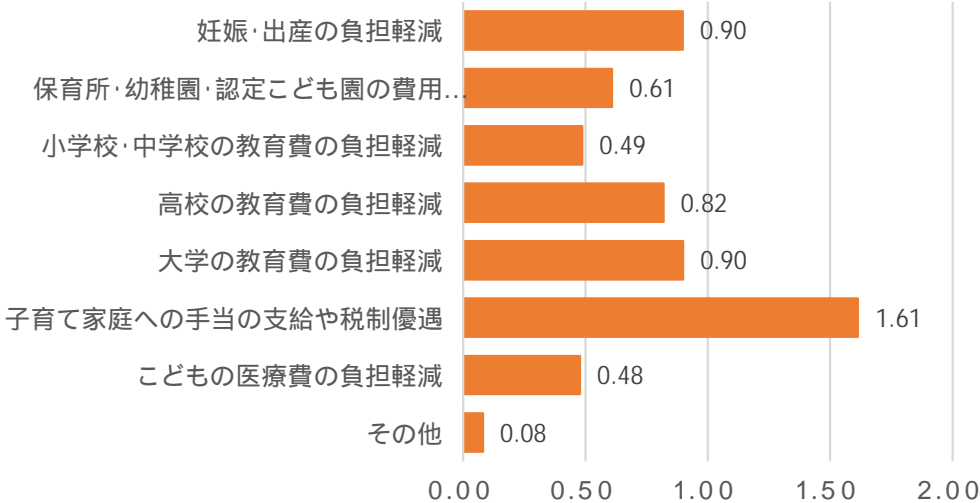
(出産・子育てについて)

設問 理想どおりのこどもを持つには、どのような支援・対策が必要だと思いますか。
(順位の高いものを3つまで)

- 「子育てに伴う経済的負担の軽減」が1.38ポイントと突出して高く、次いで「子育てしやすい職場環境の整備」が0.6ポイント、「若者の就労支援」が0.4ポイントと続く
- 求められている「経済的負担軽減」の内容は「子育て家庭への手当の支給や税制優遇」が最も高い支持を得ている

図表13 経済的負担軽減の具体的内容

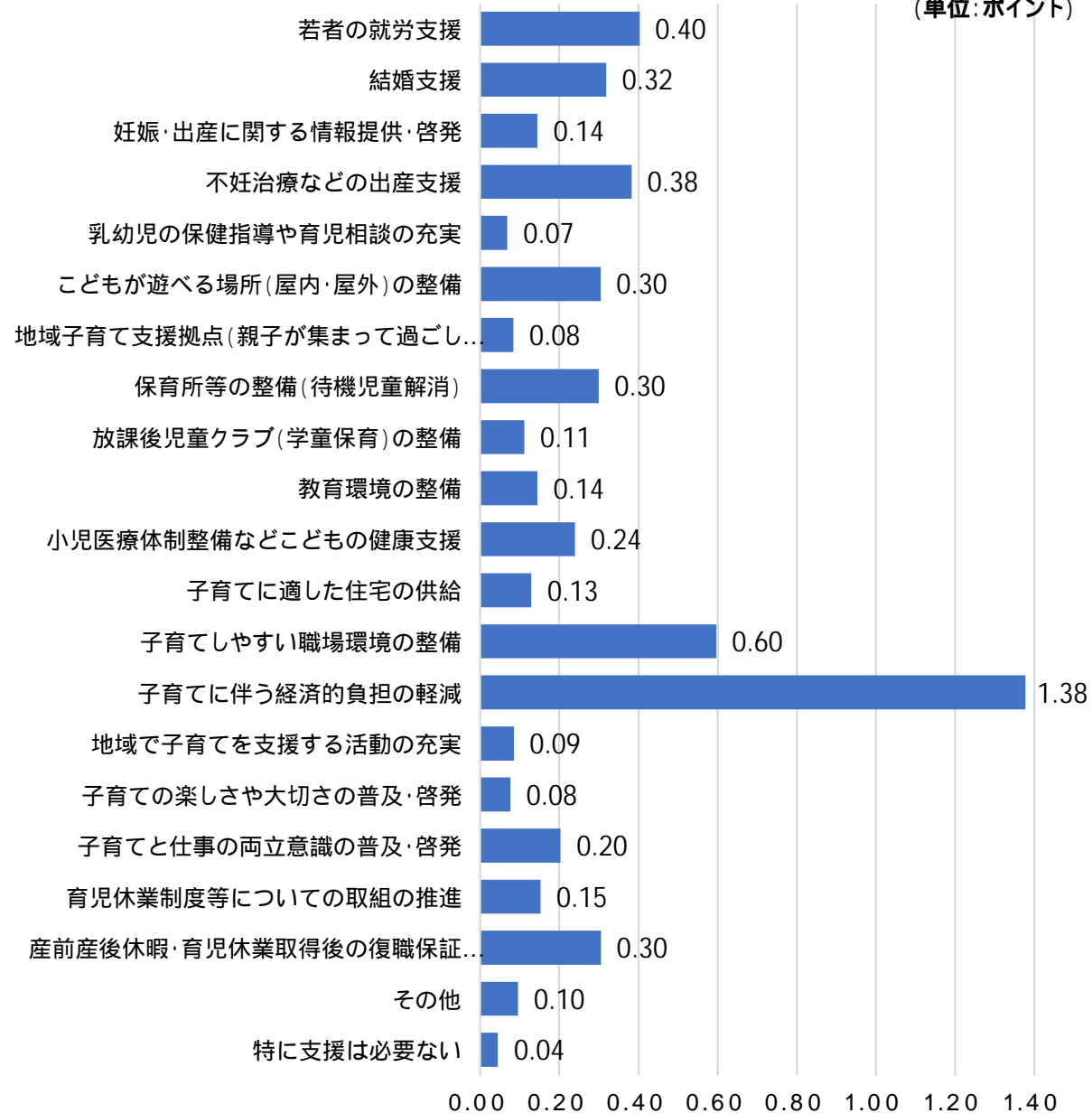
(単位:ポイント)



傾斜配点 = (1位項目 × 3 + 2位項目 × 2 + 3位項目 × 1) / 回答数

図表12 理想どおりのこどもを持つために必要な支援

(単位:ポイント)



県民アンケート調査結果等

次期総合計画・総合戦略策定にかかる基礎調査結果

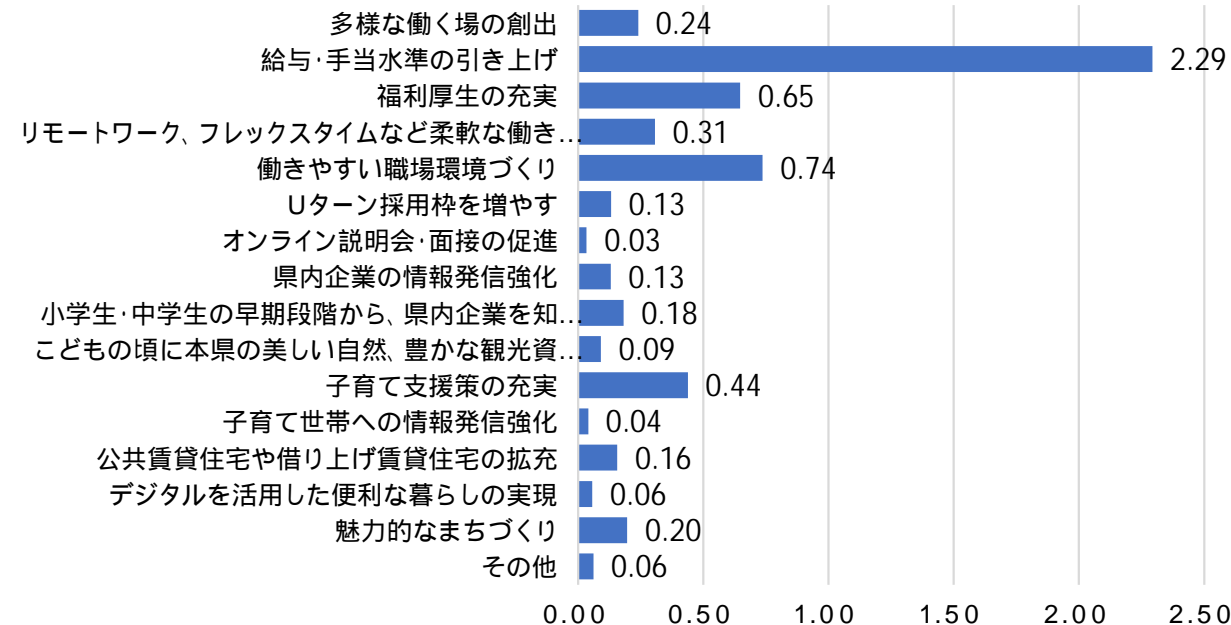
(長崎県での仕事について)

設問 長崎県が就職先・転職先として選ばれるためにはどのようなことが必要だと思いますか。
(順位の高いものを3つまで)

- 「給与・手当水準の引き上げ」が最重要視されており、「働きやすい職場環境づくり」、「福利厚生充実」が続く
- 10歳代～29歳の回答も全体の回答と同様の傾向

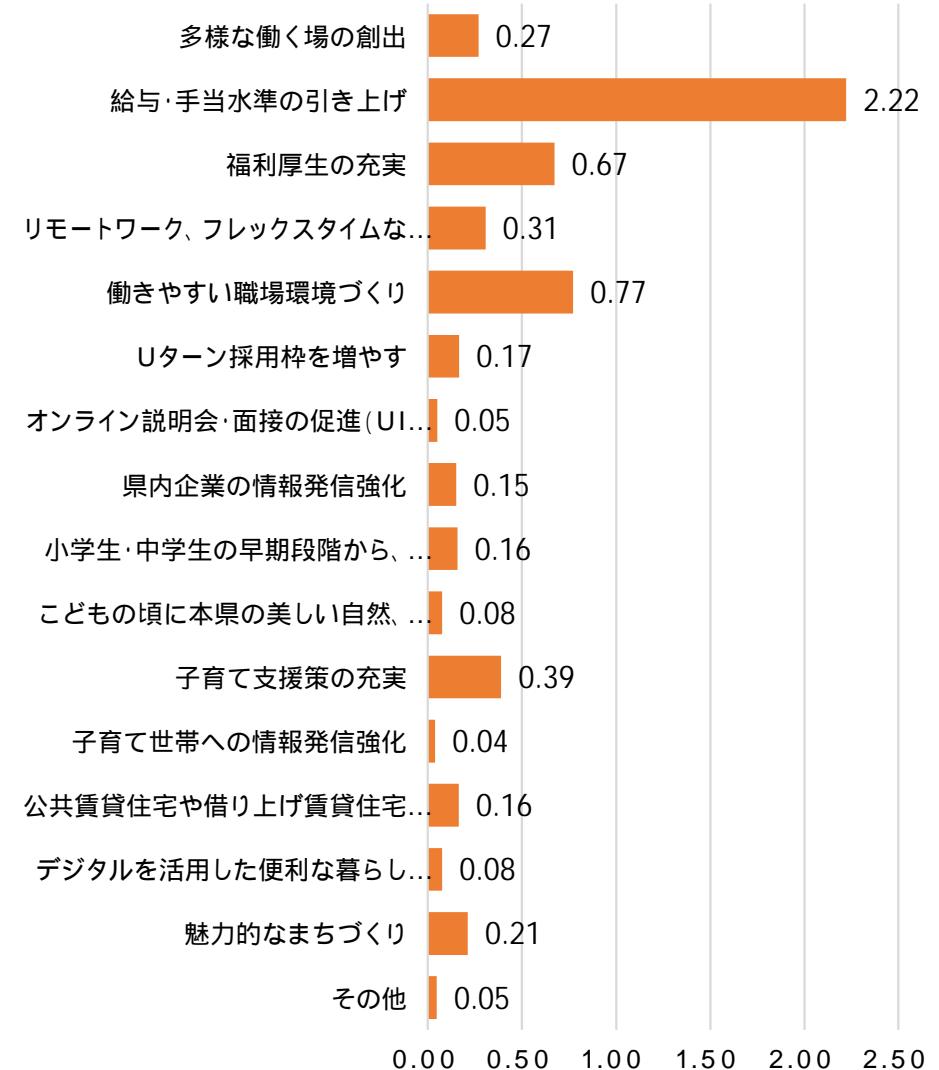
図表14 長崎県が就職先・転職先として選ばれるために必要なこと
全体(n=6,301)

(単位:ポイント)



図表15 長崎県が就職先・転職先として選ばれるために必要なこと
10歳代～29歳(n=1,870)

(単位:ポイント)



傾斜配点 = (1位項目×3 + 2位項目×2 + 3位項目×1) / 回答数

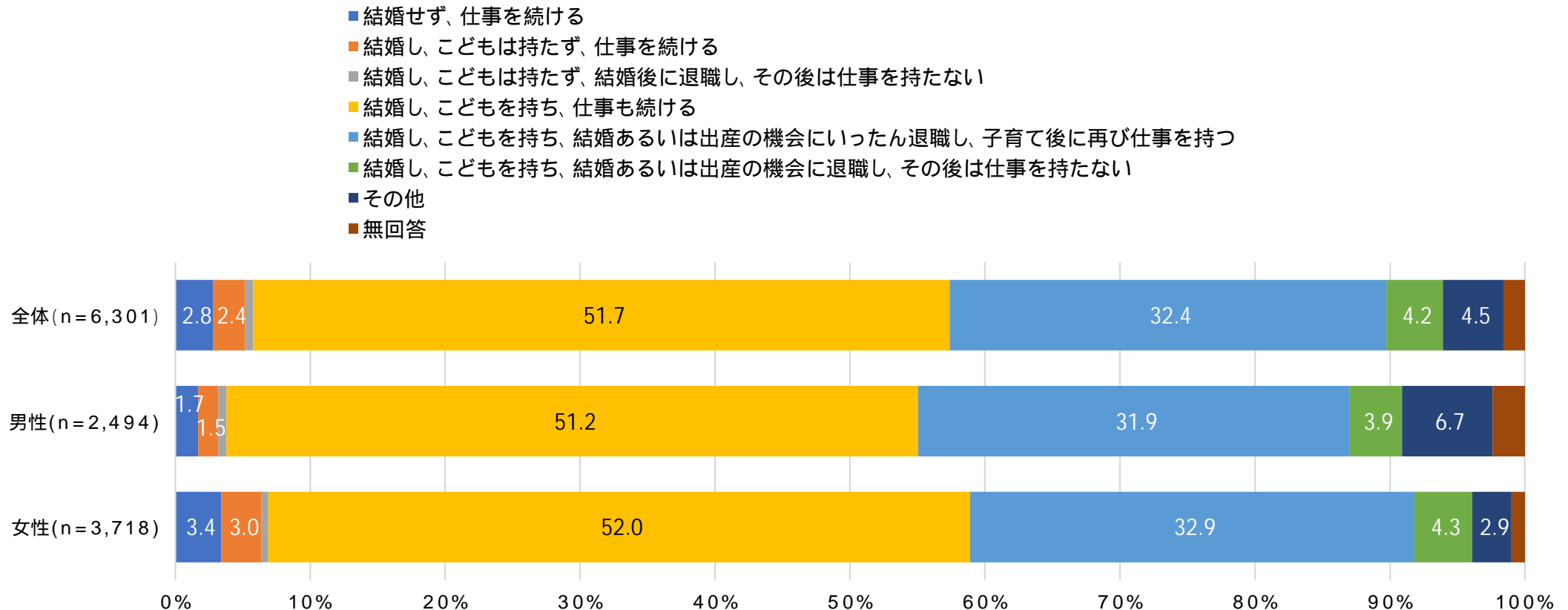
次期総合計画・総合戦略策定にかかる基礎調査結果

(女性が働くことについて)

設問 女性の結婚、出産、仕事に関わるライフコースは、あなたから見ると、どのようなタイプが理想と思いますか。
(男性は配偶者(パートナー(将来を含む))にどのようなタイプの人生を送ってほしいか回答))

- 「結婚し、こどもを持ち、仕事も続ける」が5割と最も多く、「結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ」が続く
- 仕事を続けることを理想とする層が6割近くを占める

図表16 女性の結婚、出産、仕事に関わるライフコースは、どのようなタイプが理想か



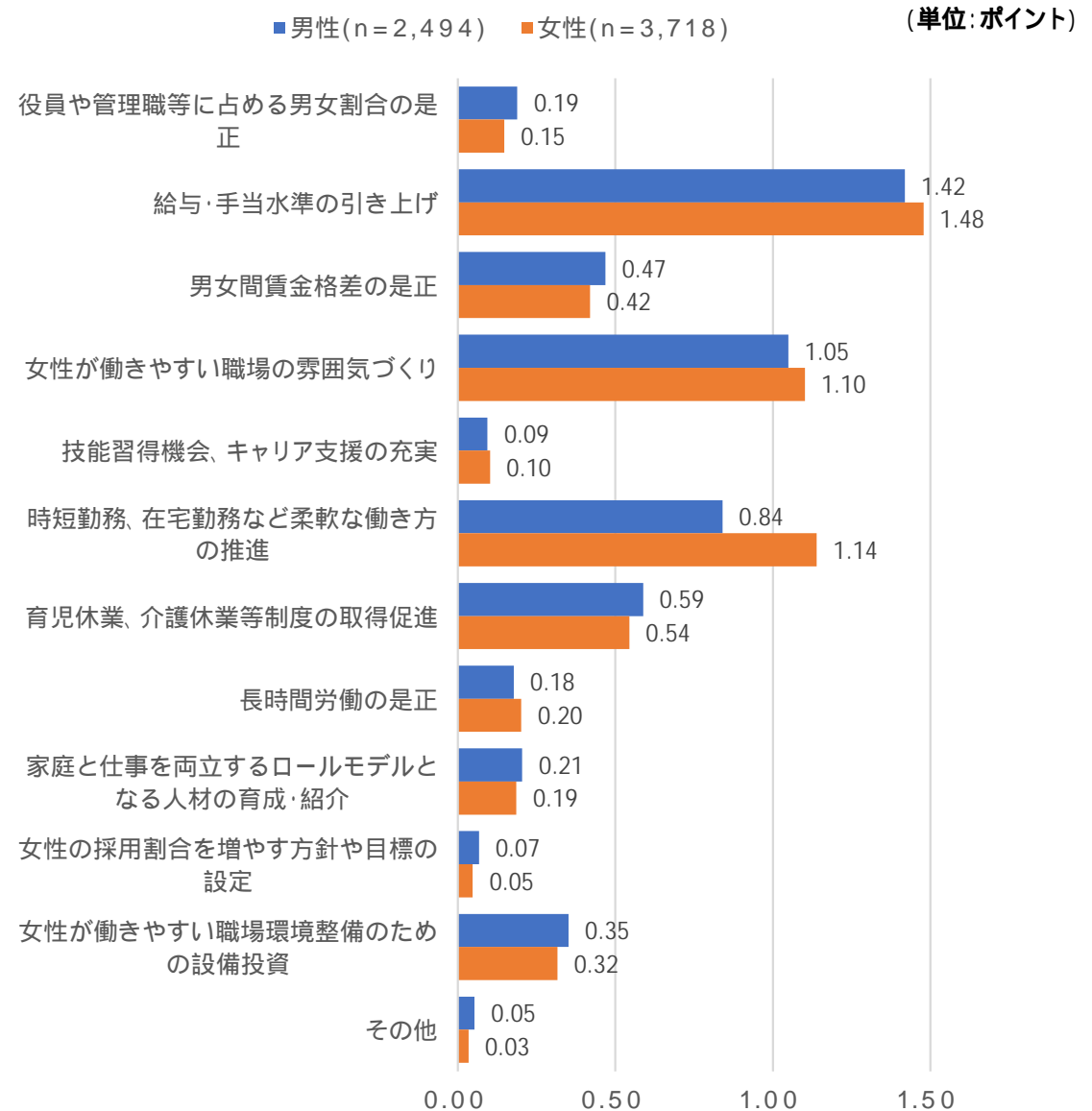
次期総合計画・総合戦略策定にかかる基礎調査結果

(女性が働くことについて)

設問 女性に選ばれる職場になるためにはどのような取組が必要だと思いますか。
(順位の高いものを3つまで)

- 「給与・手当水準の引き上げ」、「女性が働きやすい職場の雰囲気づくり」や「柔軟な働き方の推進」が重視されている
- 時短勤務、在宅勤務など「柔軟な働き方の推進」の評価は男性より女性の方が高い

図表17 女性に選ばれるために必要な取組



県民アンケート調査結果等

次期総合計画・総合戦略策定にかかる基礎調査結果

(合計特殊出生率出典)

平成30年～令和4年人口動態保健所・市区町村別統計

(県民希望出生率)

市町名	合計特殊出生率	希望出生率 ($\times + \times \times$) \times	有配偶者割合	夫婦の予定子ども数	独身者割合	独身者のうち結婚を希望する者の割合	独身者の理想子ども数	離死別再婚効果係数
長崎市	1.40	1.78	0.281	2.14	0.719	0.795	2.16	0.966
佐世保市	1.68	1.93	0.336	2.07	0.664	0.839	2.34	
島原市	1.79	1.97	0.366	2.19	0.634	0.853	2.29	
諫早市	1.60	1.79	0.333	2.14	0.667	0.792	2.17	
大村市	1.76	1.63	0.371	2.09	0.629	0.741	1.95	
平戸市	1.92	2.15	0.409	2.51	0.591	0.826	2.45	
松浦市	1.74	1.89	0.344	2.51	0.656	0.718	2.32	
対馬市	1.87	1.78	0.435	2.06	0.565	0.750	2.24	
壱岐市	1.80	1.90	0.400	2.17	0.600	0.804	2.27	
五島市	1.88	1.84	0.393	2.18	0.607	0.723	2.38	
西海市	1.80	1.84	0.362	2.44	0.638	0.778	2.06	
雲仙市	1.75	2.04	0.337	2.21	0.663	0.841	2.46	
南島原市	1.71	2.24	0.335	2.45	0.665	0.826	2.73	
長与町	1.67	1.71	0.351	2.08	0.649	0.766	2.10	
時津町	1.75	1.72	0.356	2.06	0.644	0.754	2.16	
東彼杵町	1.44	1.78	0.326	2.24	0.674	0.679	2.43	
川棚町	1.58	1.84	0.301	2.09	0.699	0.877	2.08	
波佐見町	1.76	1.88	0.360	2.30	0.640	0.880	1.98	
小値賀町	1.56	1.75	0.414	2.03	0.586	0.750	2.20	
佐々町	1.94	2.09	0.448	2.25	0.552	0.844	2.49	
新上五島町	1.73	1.84	0.393	2.34	0.607	0.792	2.05	
県平均	1.61	1.84	0.328	2.22	0.672	0.795	2.24	

希望出生率(県平均) = 市町別の希望出生率の加重平均

市町別の希望出生率 = (有配偶者割合 \times 夫婦の予定子ども数 + 独身者割合 \times 独身者のうち結婚を希望する者の割合 \times 独身者の理想子ども数) \times 離死別再婚効果係数